

新県立中央図書館基本計画(概要)

令和2年8月改定

新県立中央図書館
基本構想
(平成30年3月)

目指すべき姿

- ① 県民の生涯学習・読書活動の拠点としての図書館
- ② “ふじのくに”のことなら何でもわかる図書館
- ③ 県内市町立図書館等を強力に支援する図書館
- ④ 県民が出会い・交流し、新しい文化を育む図書館

新県立中央図書館
基本計画
(平成31年3月・令和2年8月)

図書館サービス

- ・快適な閲覧環境による資料提供
- ・専門的レファレンス、課題解決型支援
- ・多様な県民の特性に対応
- ・子ども図書館による児童サービス
- ・デジタル化・オープンデータ化推進
- ・講座・イベント、ネット利用サービス
- ・「葵文庫」など貴重書の常設展示
- ・歴史文化情報センターの併設

市町立図書館等への支援

- ・県全体の図書館サービスを底上げ
- ・先進的サービスの試行

資料整備計画

- ・既存の収集方針を維持しながら拡充

「読書県しずおか」の推進

- ・読書推進施策を集約し推進

県民交流と新たな文化の創造・発信

- ・県民が知識と出会い交流する空間
- ・新たな静岡の文化を創出

既存サービスの拡充

新規機能

県民の知のインフラとしての図書館

<施設>

確かな収蔵能力 200万冊

開架80万冊→日本一規模

利用者のニーズに応じた閲覧環境

研究エリア: 静寂な空間を確保、個別閲覧席等

一般エリア: 多少の会話を許容、居心地のよい席

誰もが利用しやすいUD対応施設

<サービス>

専門的で高度なレファレンス、課題解決型支援

県内市町立図書館・学校図書館の支援

全点収集の児童書を有する子ども図書館

貴重書展示、豊富な地域資料、県史編さん資料



未来につながる新しいタイプの図書館

～図書館の枠を超えた学び・交流し・創造する場～

多彩な情報との出会いの場

映像・実物・デジタルなど様々なメディアで情報提供
新書・マンガも含めたテーマ別配架で好奇心を刺激

人と人との出会いの場

出会い・交流する居心地のよいサードプレイス

新たな文化の創造・発信の場

県民交流・文化創造を手助けする設備・機能の設置